二〇〇八年十一月発行

ARCHIVES

山陽放送報制局
放送ライブラリー
センター

第三十号

映像が語る８０年前の日本

岡山市一宮の方から山陽放送に、妻の実家の倉を取り壊す際昔のフィルムが出てきたのだが、保管、利用をしてもらえないかという依頼がありました。お宅にお邪魔したところ、出して頂いたのはコダックの箱に入った 100 フィート巻きの 16 ミリフィルム 34 本と 400 フィート巻きの缶入りフィルム４本でした。このうち 400 フィート巻きのフィルムはチャップリンの劇場映画でしたが、残りの 32 本はすべて昭和３年（1928 年）から５年（1930 年）にかけて岡山や東京、それに関西方面を撮影したものでした。保存状態はけっして良くなく、銀粒子が浮き出たりフィルム全体が縮んだりしていました。それをライブラリーセンターでクリーニングし傷んだ部分を修復して、幅の狭まったパーフォレーション（送り穴）を騙しだましテレシネに掛けてみました。

モニターに映し出されたのは、岡山市の後楽園や旭川河口の風景、それに東京や京都などの風物と人物でした。中でも戦災に遭う前の岡山駅構内や駅前の動画は我々が初めて見るものでした。また、焼失前の東京駅、都電の行き交う上野界隈の風景、震災後の帝都復興祭の模様など、貴重な映像が多数ありました。撮影者の河合兵衛さんは映画俳優との親交もあり、林長二郎（後の長谷川一夫）さんや佐久間妙子さんら当時の大スター達と共に神戸や京都嵐山で遊覧を楽しむ映像も残っていました。

センターではこれらの映像の撮影場所と撮影年代を詳しく調べると共に、夕方の特集ニュースで放送し、関係各位から多くの反響を頂きました。

これらのフィルムはセンターの収蔵庫に保管すると共に、今後様々な形で利用していくことにしています。

津山の戦前映像

津山市から依頼を受け、現在津山江見写真館の 9.5 ミリフィルムをＤＶＤ化しています。すでに一度起こした映像ですがより鮮明になる事が期待されます。またこの紙面でご紹介します。

民放連の著作権研修会より

⑤「動画投稿サイトへのアプローチ」

動画投稿サイトというものをご存知でしょうか。インターネットなどでよく見かける「You Tube」や「ニコニコ動画」などがそれで、一般の人が自分の撮影した面白映像や衝撃映像をネットに投稿し、みんなに見てもらおうというサイトです。

このサイトで近頃目立っていたのが地上波放送を録画してそのまま流したり、一部改ざんして流したりという投稿です。たとえば、テレビで放送された番組や出演者のＮＧなどを、後から別に付けたコメントと共にこのサイトに投稿するものです。

この行為はもちろん著作権侵害で、そうした映像が流される度に、権利を侵害された放送局では運営会社に対し違法投稿コンテンツの削除要請を行ってきました。

また、放送する音声や映像の中に暗号化したメッセージを入れ込んで置き、他の放送局の番組や他のメディアのサイトに載せられた内容を常にモニターしながら、その中にそのメッセージの入った、つまり自分が著作権を持つ映像や音声が使われていないかどうかを自動的に調べる方法もあります。これは「フィンガープリント」と言われるもので、すでに実用段階に入っています。

こうした努力によって、動画投稿サイトへの違法投稿はずいぶん減ってきましたが、こうした動きとは反対に、このサイトをビジネスとして利用するところも出てきました。たとえば、吉本興業では、You Tube やニコニコ動画などと提携して、若手タレントの芸をサイトで流し、アクセス数を人気のバロメーターとして利用しています。また、カシオや角川などではここでＣＭを流していますし、政党や政治家個人も、ここで自分たちの考え方をアピールしています。

つまり迷惑がられていたはずの動画サイトが、気が付けば地上波民放にとってライバルメディアになっていた訳で、ここを利用しようとする民放すら現れています。